

首都圏中央連絡自動車道 江戸崎橋(下部工)工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	図面186/232 A1橋台土留め工詳細図(その2)	土留工数量集計表において、『継手部補強板 PL-140×19 28枚, PL-80×19 56枚』と記述されています。 鋼矢板継手箇所数は、 $N=(39+64) \times 1ヶ所 + 7 \times 4箇所 = 131箇所$ となります。したがって、PL-140×19の継手枚数は、131枚、PL-80×190は、262枚となります。数量の確認をお願いします。	2月21日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 下部工設計図に誤りがありました。 なお、上記については交付図書を訂正いたします。
2	図面185/232 A1橋台土留め工詳細図(その1)	A1橋台土留工詳細図において、側面図及び断面図に『切断』と記述されています。この図面の記述通り、アンカー部の鋼矢板を切断することによろしいのでしょうか。ご教授ください。	2月21日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 下部工設計図に誤りがありました。 なお、上記について交付図書を訂正いたします。
3	図面185/232 A1橋台土留め工詳細図(その1)	アンカー部鋼矢板の撤去寸法は、断面図に記述の通り『516mm～5870mm』と考えてよろしいですか。ご教授ください。	質問番号2の回答のとおりです。
4	図面185～186/232 A1橋台土留め工詳細図(その1, 2)	アンカー部鋼矢板の引抜長は、鋼矢板打設長から上記の撤去延長(516～5870)を差し引いた延長と考えてよろしいですか。ご教授ください。	質問番号2の回答のとおりです。
5	図面186/232 A1橋台土留め工詳細図(その2)	鋼矢板切断延長において、A1橋台 土留工数量集計表では『切断延長L=39.6m』と記述されています。 切断延長を計算すると、 $L=頭部連結(64枚+7枚) \times 0.4m/枚 \times 1箇所 + アンカー部(39枚 \times 0.4 \times 1箇所) = 44m$ となり、土留工数量集計表(39.6m)と異なりますので、数量の見直しをお願いします。	2月21日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 下部工設計図に誤りがありました。 なお、上記については交付図書を訂正いたします。
8	図面204～205/232 A2橋台土留め工詳細図(その1, 2)	A2橋台土留工詳細図において、側面図及び断面図に『切断』と記述されています。これは、アンカー部の鋼矢板を切断することによろしいのでしょうか。ご教授ください。	2月21日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 下部工設計図に誤りがありました。 なお、上記について交付図書を訂正いたします。
9	図面205/232 A2橋台土留め工詳細図(その2)	アンカー部鋼矢板の撤去寸法は、断面図3-3通り『550mm～3640mm』と考えてよろしいですか。ご教授ください。	質問番号8の回答のとおりです。
10	図面204, 205/232 A2橋台土留め工詳細図(その1, 2)	アンカー部鋼矢板の引抜長は、鋼矢板打設長から上記の撤去延長(505～3640)を差し引いた延長と考えてよろしいですか。ご教授ください。	質問番号8の回答のとおりです。
16	特記仕様書24-14-3(P33)金抜き設計書B-5頁	率計上工事に関する記述で、『単価表の番号(1～57)……』と記述されています。ただし、金抜き設計書を見ると、番号54が『率計上に関する事項』となっており、特記仕様書と金抜き設計書で整合がとれていません。確認のほどよろしく申し上げます。	2月21日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 特記仕様書に誤りがありました。 なお、上記について交付図書を訂正いたします。